

令和5(2023)年12月 軽自動車新車販売速報

令和6(2024)年1月5日
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和5(2023)年12月の軽自動車新車販売台数(新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース)は、全体で130,519台、前年同月比3.5%減となり、5か月ぶりのマイナスとなりました。

車種別では、乗用車が100,941台で前年同月比2.5%減(5か月ぶり減)、貨物車が29,578台で同6.8%減(7か月連続減)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが2,992台で前年同月比20.2%減(5か月連続減)、キャブオーバーバンが14,919台で同5.7%減(3か月連続減)、トラックが11,667台で同4.1%減(3か月連続減)となっています。

この結果、令和5(2023)年の年間新車販売台数は1,744,919台、前年比6.5%増となり、5年ぶりのプラスとなりました。

年間販売台数の内訳は、乗用車が1,341,330台、前年比9.5%増(5年ぶり増)、貨物車は403,589台で同2.3%減(2年ぶり減)。貨物車の内訳は、ボンネットバン40,913台で同4.9%増(2年連続増)、キャブオーバーバン205,138台で同0.4%減(3年ぶり減)、トラック157,538台で同6.3%減(2年ぶり減)となっています。

